

地図

項目	観点	教科書名	
		新しい社会 地図(2・東書)	中学校社会科地図(46・帝国)
1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について	○地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力を養うために、どのように配慮されているか。	・資料のポイントや見方を示したキャラクターの吹き出しを設けることで、資料を読み取る力を高め、多面的・多角的に考察できるよう配慮されている。 ・歴史的な結び付きが強いヨーロッパとアフリカを同じ一般図に掲載するなど、地域的なつながりを重視した様々な範囲の一般図を掲載し、様々な学習に活用できるようになっている。 ・縦向きの地図を効果的に使い、大陸や州を同縮尺にすることで、大陸部分を中心に地球儀の代わりに使用できるよう工夫されている。	・地図活用の技能を身につけるためのコーナー「地図活用」を各所に設け、地図の読図や比較を通して、地図から分かることを整理したり、説明したりすることができるよう配慮されている。 ・巻頭と巻末の資料図では、誌面のタイトルわきに「学習課題」を設け、そのページで扱うテーマを追究する際の着眼点を示している。 ・世界地図には、世界の国々と日本の大きさ比べや、緯度や経度による位置関係が比較できるよう、随所に同緯度、同経度、同縮尺の日本地図が掲載されている。
2 内容の程度及び取扱いについて	○主体的・対話的で深い学びを実現するためにどのような工夫が見られるか。	・関連した資料のページを示す「ジャンプ」が設けられており、主体的に深く学ぶ工夫がされている。 ・SDGsの17のゴールの一覧を掲載し、現代的な諸課題を捉え、解決に向けて考えることができるようになっている。 ・歴史や公民の学習に役立つ資料にはそれを表すマークがつけられており、生徒の主体的な学習を促す工夫がされている。 ・DマークがついたページではICTを活用した学習ができ、白地図などがダウンロードできるようになっている。	・ページタイトル横にある二次元コードをタブレットパソコンなどで読み取ると、学習を深める資料やクイズなどのコンテンツを見ることができるようになっている。 ・防災や環境に関する資料にはマークがつけられており、生徒の主体的な学習を促す工夫がされている。 ・各国や地域と日本との結び付きを表すマークがつけられた資料を掲載し、深い学びができるようになっている。
3 配列・分量	○教材の配列、分量には、どのような特色があるか。	・一般図・鳥瞰図(日本と結び付きが特に強い地域)・基本資料・テーマ資料・写真・統計などが掲載され、それぞれの地域についての特色を示す構成に特色がある。 ・「テーマ資料」には、教科書での探究課題に沿った学習に役立つ資料が掲載されている。 ・地理的分野の教科書の構成に沿った配列で掲載されている。 ・授業で良く取り扱われる地域や日本の三大都市圏については多くの資料を取り上げている。 ・郷土料理の写真や世界遺産を取り上げた地図、ご当地キャラクターなど、生徒の関心を高め、他の学習でも学習に活用できるようになっている。 ・「西アジア・環地中海」の一般図や江戸時代の大阪の地図など、歴史や公民の授業での活用度が高くなっている。 ・巻末「日本の周辺」地図上に、島の写真とともに領土問題について詳しい解説を掲載している。	・一般図・鳥瞰図・資料図・写真・統計などが掲載され、それぞれの地域についての特色を示す構成に特色がある。 ・多様な資料の掲載によって、生徒の探求的な学習に対応できるよう配慮されており、資料図は視覚を通して地域の特色が考察できるよう、自然や人口などの主要素については縮尺が統一されている。 ・アジア州の学習では、東南アジアを見開きで大きく扱い、生徒の学習に合わせて使用できるようになっている。 ・オセアニア州では細かい諸島の形を拡大して提示するなど、生徒の理解を深める工夫がなされている。 ・実際の地形図を取り上げ、作業を通して地形図の見方を身に付けられるコーナーが設けられている。 ・随所に修学旅行や校外学習で活用できる資料が掲載されている。 ・日本の一般図では、伝統文化に関する絵記号が多数掲載されており、また伝統・文化に関する地図や写真が豊富に掲載されている。 ・「大西洋」など三大洋の地図が掲載されており、歴史的な航路が記されていることで、歴史や他の学習に合わせて使用することができる。 ・日本の領土については、地方ごとに掲載した一般図の中に写真や解説とともに掲載している。北方領土については、年代ごとの国境の変遷が掲載されているとともに、同縮尺の沖縄本島を併記して、大きさや位置関係を捉える工夫が見られる。
4 表記・体裁	○用語や資料、使用上の便宜等については、どのような工夫が見られるか。	・巻頭に世界地図、巻末に都道府県の県庁所在地を掲載し、小学校の学習を振り返りながら学習を進められるようになっている。 ・一般図では土地の高低が細かく色分けされており、文字情報を見やすくする工夫がされている。 ・明るい色づかいを採用して文字の可読性を高めるとともに色覚特性がある生徒にも区別しやすい配色にするなど、ユニバーサルデザインフォントが採用されている。 ・資料が探しやすい「資料さくいん」を設け、地形や気候、人口といった分類ごとに資料を探せるよう工夫されている。 ・AB版の見やすく印象的な紙面構成で、大きめの資料が豊富に掲載されている。	・見開きのページを使って世界地図、日本地図をそれぞれ取り上げるとともに、小学校で身に付けた技能を発展させた「地図帳の使い方」が配置されている。また二次元コード内にも収録されている。 ・レイアウトが統一されていて、生徒が探しやすいよう配慮されている。 ・全編にわたってユニバーサルデザインを使用し、色や文字の書体、大きさなどを見やすく工夫している。 ・鳥瞰図にイラストが多数掲載されており、地域的特色を大観し、概略をつかめるようになっている。 ・巻末の世界の統計資料は、州別、項目別に色分けされ、上位国と下位国の色分けがされ、差異を捉えやすいように配慮されている。 ・A4版の大判化の地図帳で、地域の結びつきをより重視した図取りになっている。